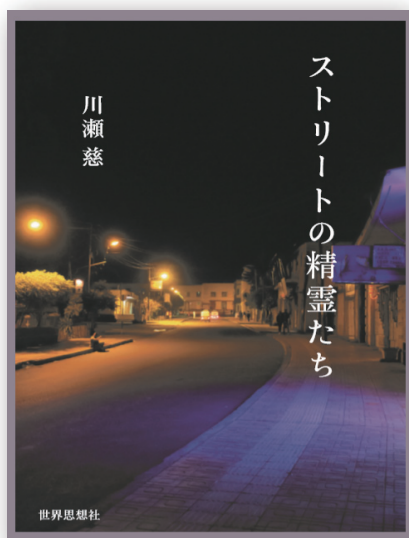


『 ストリートの精霊たち 』

エチオピア、ゴンダールのストリート。そこは、楽師や吟遊詩人、娼婦や物乞い、街のゴロツキに物売り、胡散臭いガイドたちが息づく奥深い空間であった。かれら“ストリートの精霊たち”と著者との交流を軸に、人々の夢や生きざまをさまざまな語り口で描く、映像人類学者の注目作。カラー4ページ、モノクロ39ページ分の写真収載。



◆目次

プロローグ	9 永遠
1 ピアッサの精霊たち	10 神々との戯れ
2 太陽のララバイ	11 コロタマリ
3 ムルの蛇	12 ヨハネスとの約束
4 たまご売りの少女チャイナ	13 再会
5 神にささげる歌	14 旅路
6 高原のチャップリン	15 アニキの流儀
7 あるシンフォニー	16 十字架
8 約束の地	17 エチオピアホテル

著者 川瀬 慈(かわせ いつし)

1977年生まれ。国立民族学博物館／総合研究大学院大学准教授。専門は映像人類学、民族誌映画。人類学、シネマ、現代アートの実践の交差点から、イメージや音を用いた話法を探究する。映像作品に『Room 11, Ethiopia Hotel』(イタリア・サルデーニャ国際民族誌映画祭にて「最も革新的な映画賞」受賞)等、共編著に『アフリカン・ポップス!』等がある。
www.itsushikawase.com/japanese/

音楽家・坂本龍一さん推薦！

川瀬慈氏の『ストリートの精霊たち』を読んで、ぼくもエチオピアの伝統食、インジェラというものを食べたくなった。ニューヨークのエチオピアン・レストランを探すとするかな。ゴンダールのストリート、それほどまでに懐かしく、胸の痛みを伴うほど恋しい場所のある川瀬氏は幸せだ。嫉妬さえ覚える。そして精霊たち、アズマリの少年タガブ、ラリベロッチのテラフン、即興詩人、そのような者たちと過ごした時間の記憶をもっている人生は豊かだ。

ストリートの精霊たち

川瀬 慈 著
 本体 1,900円(税別)
 2018年4月30日発行
 四六判・並製／204頁
 ISBN978-4-7907-1717-1



ご注文数

冊

年 月 日

ご注文者名:

お電話番号:

FAX番号:

番 線 印



世界思想社 70th

〒606-0031 京都市左京区岩倉南桑原町56

電話: 075-721-6500 FAX: 075-721-8707